



## フランス、ドイツ 改訂栄養スコアでも残る問題点

フランス公衆衛生局 <https://www.santepubliquefrance.fr/les-actualites/2024/nutri-score-le-point-sur-les-nouveautes-2024>  
 ドイツ商品テスト財団 <https://www.test.de/Lebensmittelkennzeichnung-Nutri-Score-das-muessen-Sie-wissen-5461113-0/>  
 ハンブルク消費者センター <https://www.vzh.de/presse/nutri-score-wird-ab-2024-besser>

加工食品の包装表面に5色のラベルが印刷されていることがある。フランスで考案された任意表示で、“Nutri-Score”（栄養スコア）\*と呼ばれる。食品の栄養素を指定の方法で計算し、評価が高い順に、A（緑）、B（黄緑）、C（黄）、D（オレンジ）、E（赤）に分類。消費者はラベルを見るだけで、健康によい食品が分かるのだという。フランスをはじめ、ドイツ、スイスなどヨーロッパの7カ国が採用している。

もっとも、今までの基準ではオリーブ油が低い評価を受けたり、砂糖の代わりに合成甘味料を使用する飲料が有利な取り扱いを受けるなど、一般感覚と異なる現象もみられた。そこで、評価の基準を改訂し、2024年1月から順次施行されている。新基準でも、摂取を控えるべき要素（エネルギー、糖分、塩分

等）と摂取が推奨される要素（食物繊維、たんぱく質、野菜、ナッツ等）を考慮する点は変わらない。しかし、現在の科学的知見等も考慮して、栄養価をより正確に計算できるよう改善したのだという。

例えば、脂肪分が高いからといって、一律に低評価となることはなく、健康に有益な不飽和脂肪酸が豊富なオリーブ油等の評価は高まる。一方、合成甘味料が添加された飲料はマイナス評価される。しかし、脂肪分等が厳しく評価されることとなった植物性飲料や牛乳等は、格下げされる結果となる。そこで、“Nutri-Score”の表示を外し、抗議の意思を表明する飲料メーカーも現れた。さらに、経過措置期間の2年間は新旧の“Nutri-Score”が混在することになり、消費者の混乱を招くという指摘もある。

\* ウェブ版「国民生活」2021年12月号「海外ニュース」参照 [https://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-202112\\_08.pdf](https://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-202112_08.pdf)



## ドイツ さまざまな生活用品からPFAS検出

ニーダーザクセン州 [https://www.laves.niedersachsen.de/startseite/bedarfsggegenstande/bedarfsggegenstande\\_mit\\_lebensmittelkontakt/pfas-in-papiergeschirr-papier-fur-die-ewigkeit-230374.html](https://www.laves.niedersachsen.de/startseite/bedarfsggegenstande/bedarfsggegenstande_mit_lebensmittelkontakt/pfas-in-papiergeschirr-papier-fur-die-ewigkeit-230374.html)  
 ドイツ商品テスト財団 <https://www.test.de/Einweggeschirr-Pappteller-oft-mit-Schadstoffen-belastet-6123560-0/>

ピクニックやバーベキューに便利な紙製の使い捨て食器。最近、バガス（サトウキビの搾りかす）を使った紙皿も増えている。木材パルプと異なり森林伐採の必要がなく、廃棄物の有効利用にもつながるとされる。ところが、紙製食器をよく使う人には心配なテスト結果が出た。ニーダーザクセン州消費者保護・食品安全局のリューネブルク消費財研究所によると、木材パルプやバガスを原料とする紙製食器40品のうち20品から、健康と環境に有害なPFAS（ペルフルオロアルキル化合物とポリフルオロアルキル化合物の総称）が検出されたのだという。同化合物は自然界でほとんど分解されずに、人間や動物のからだに蓄積するといわれている。

同研究所によると、紙製食器のPFASは水や油をはじく表面処理剤に由来するとのこと。なかには、食品

に移行する可能性がある物質が高濃度に含まれる製品もあったと警告する。手持ちの紙製食器に表面処理剤が使われているかどうか心配な消費者には、自身で確かめる方法を伝授する。水と油を1滴ずつ紙製食器に垂らした際、紙に染み込まずに、それぞれ玉のような滴を形成する場合は、PFAS含有の可能性が高いとする。

なお、商品テスト財団によると、子ども用の撥水加工ジャケットやデンタルフロスからも、PFASが検出されたとのことである。これらのテストは国内外の環境保護団体が実施したもので、同財団ウェブサイトに概要が紹介されている。

EUもPFASの有害性に注目しており、2025年からはPFASの禁止対象を広げ、規制の厳格化を予定しているという。